

平成28年度

花と
みどりの
楽校

気づき編



平成28年度 花とみどりの楽校

平成27年度は“気づき編”として、今一度身近な自然に目を向けて「自然の不思議を発見する」、
「生駒のまちなかのみどりに気が付く」ことを目的に、1回完結の体験型講座を開講した。対象を小学生とその保護者に広げてきたが、まだまだ、取り込めたとは言い難く、平成28年度は、気づき編を引き続き開講しながら、平行して従来の里山づくり編を“里山編”として開講し、ボランティア養成を系統だてて行うこととする。

また、「森林ボランティアを養成する」という目的をはっきりさせるためには、里山編は必須と言える。しかし、いきなり里山編を受講するのはハードルが高いと考え、徐々にボランティア養成を行っていくことが有効であると考えた。



平成28年度 花とみどりの楽校

気づき編

実習や体験に重点を置き、講座受講の敷居を低くし、楽校の存在を知ってもらう

○一講座内では、実習や体験で終わるのではなく、花や緑に関心を持ってもらうための効果もなくてはならないため、次につなげるための30分程度の学びの時間をとり、その講座に関する資料を持ち帰ってもらう



平成28年度 花とみどりの楽校

里山編

森や緑に関心を持っているが今まで活動を行ったことがない人が、踏み出す一歩となる講義と実習内容とする。



第1回



木の上から森を見よう

ロープを使って木に登り、上空からの様子を見て、森に親しむ。森を構成している木や植物を探し、森の多様性を気づかせる。日頃と違った視点から、森の中や木を見ることで、新たな発見をし、自然の大切さに気づく。

日時： 平成28年 5月14日(土)
13時30分～15時30分

場所： 滝寺公園キャンプ場
大乘滝寺境内

参加人数：	保護者	…	10 人	(1)
	小学生(高学年)	…	8 人	(8)
	(低学年)	…	12 人	(11)
	幼児	…	1 人	(0)

10組 計31人

()の数字は
木に登った人数

講師 アーボリスト 小林 仁さんによる講義



実習 樹木の観察



実習 木登り



実習 木登り



実習 木登り



アンケートより 講座を受講しての感想・意見

- 頂上まで登った後に、将来の夢がちょっと変わったと子どもが言った
- 木の名前に詳しくなりたいたと思った
- とても貴重な経験ができた
- もっとこの講座をやれば、アーボリストが増えると思う
- もっと木のことや森の中の植物を知りたい

第2回



セミの羽化を見よう

セミの羽化を観察することで、命や自然の不思議を発見することで自然に興味を持つ。

セミの羽化は夜に行われるので、夏休みに親子で夜の森に入り、自然の神秘について触れてみる。

日時： 平成28年 7月 30日(日)
18時30分～20時30分

場所： 生駒山麓公園
野外活動センター一周辺

参加人数 : 保護者 …15人
: 小学生(高学年) … 5人
: (低学年) … 9人
: 幼児 … 9人

11組 計38人

資料や標本によるセミの学習



資料や標本によるセミの学習



枚岡ネイチャークラブさんによる 講義



観察 セミの羽化



観察 セミの羽化



アンケートより 講座を受講しての感想・意見

- 神秘的、美しい、厳か、感動、楽しい
- 昼とは違う森を感じ、夜に活動する虫たちをみて、自然の大きさを感じた
- 羽化は意外と時間がかかると思った
- 自分たちだけで行ってみようという気になった
- 探すのがとても難しかった

第3回



ハーブ石けんを つくってみよう

身近なハーブや自然のものを使った石けんづくりをすることにより、花やみどりに関する市民の知識・関心を高め、地域で花とみどりのまちづくりを実践するボランティアを養成する。

日時： 平成28年9月3日(土)

13時30分～15時30分

**場所： 花のまちづくりセンター
ふろーらむ**

参加人数：	大人	…10人
	： 中学生	… 1人
	： 小学生(高学年)	… 0人
	： (低学年)	… 7人
	： 保護者	… 8人

16組 計26人

講師 高津 祐子さんによる講義



実習 5班に分かれて石けんづくり開始



実習 オイルと苛性ソーダの温度調整



実習 泡だて器で30分混ぜる



出来上がり例

石けんタネを型に流しいれ、固まったら取り出しカット
風通しのよい場所で、約1か月乾燥・熟成させる



アンケートより 講座を受講しての感想・意見

- 住んでいる地域のものを材料にできることは良いと思う
- もっと他の材料でも挑戦してみたい
- 自然のものは、すごく体に良いと思った
- 自然のものの大切さ、身体への効果を学んだ

第4回



森で遊ぼう -THE 野遊び-

小学生の親子対象の講座で、野遊びから森を知るきっかけづくりをすることにより、花やみどりに関する市民の知識・関心を高め、地域で花とみどりのまちづくりを実践するボランティアを養成する。

日時： 平成28年11月27日(日)
13時30分～16時30分

場所： 花のまちづくりセンター
ふろーらむと長弓寺周辺
(雨の為、長弓寺周辺は中止)

参加人数： 保護者 … 7人
： 小学生(高学年) … 1人
： (低学年) …10人

6組 計18人

講師 森林インストラクター・野遊び研究家 山崎 春人さん



ツバキの葉で草笛体験



実習

植物工作



どんぐり工作



ムカゴを炒めて食べる



アンケートより 講座を受講しての感想・意見

- 植物とのふれあいに、子どもたちが夢中になっていたことが良かった
- 葉で遊ぶことを忘れてしまっていたので、子どもに教えられず、今回教えていただいていたよかったです
- 葉っぱの工作と椿の笛が、少しの工夫で楽しいものに変身して驚いた
- 身近な森の楽しさを色々発見できた
- ツブラジイが、とても美味しいことがわかった

平成28年度

花と
みどりの
楽校

里山編



カリキュラム

回	月	日	曜日	時間帯	テーマ	講義 実習	講師	場所
1	1	21	土	午前	基調講演	講義	下村 泰彦 (大阪府立大学大学院)	南コミュニティ センター 「せせらぎ」 とその周辺
				午後				
2	2	18	土	午前	木を切ってみよう	実習	NPO法人 日本森林ボランティア協会	エコパーク21 とイモ山公園
				午後				
3	3	11	土	午前	生駒の緑の謎	講義	久 隆浩 (近畿大学)	生駒北小中学校 と高山町竹林
				午後	竹林を きれいにしよう	実習	いこま里山クラブ グリーンボランティア「いこま宝の里」	
4	4	22	土	午前	自然の楽しみ方*	講義	菅井 啓之 (京都光華女子大学)	生駒山麓公園・ 野外活動センター とその周辺
				午後	森からの授かり もの*	実習	いこま里山クラブ グリーンボランティア「いこま宝の里」	
5	5	27	土	午前	森を楽しむ*	講義 実習	山崎 春人	花のまちづくりセンター 「ふるーらむ」 とその周辺
				午後	ボランティアとは*	講義	「ららぽーと」職員	
修了式								

◆時間帯は10時～15時30分です。ただし、日時、講義内容は変更になる場合があります。
4月以降の※のついている講座については、3月に決定します。

日時： 平成29年 1月21日(土)
10時00分～15時30分

**場所： 南コミュニティセンター
往馬大社**

参加人数：15人

開校式の後、オリエンテーションを行い、大阪府立大学大学院で園芸学・造園学・環境農学の研究をされている、緑のスペシャリスト・下村教授による基調講演『生駒市の緑について』を聴講し、生駒の緑について学びます。

開校式



楽校長開校の挨拶



記念撮影



基調講演



基調講演

大阪府立大学大学院 下村康彦教授



花とみどりの楽校（里山編）

「生駒市の緑について」

- 森の働き
- 山のみどりを守る制度
- 里山とは？ - 現状と課題 -
- 将来の森の姿を見据えた里山づくり
- 里山コミュニティ

大阪府立大学大学院

教授 下村 泰彦

里山って??今何が問題なの



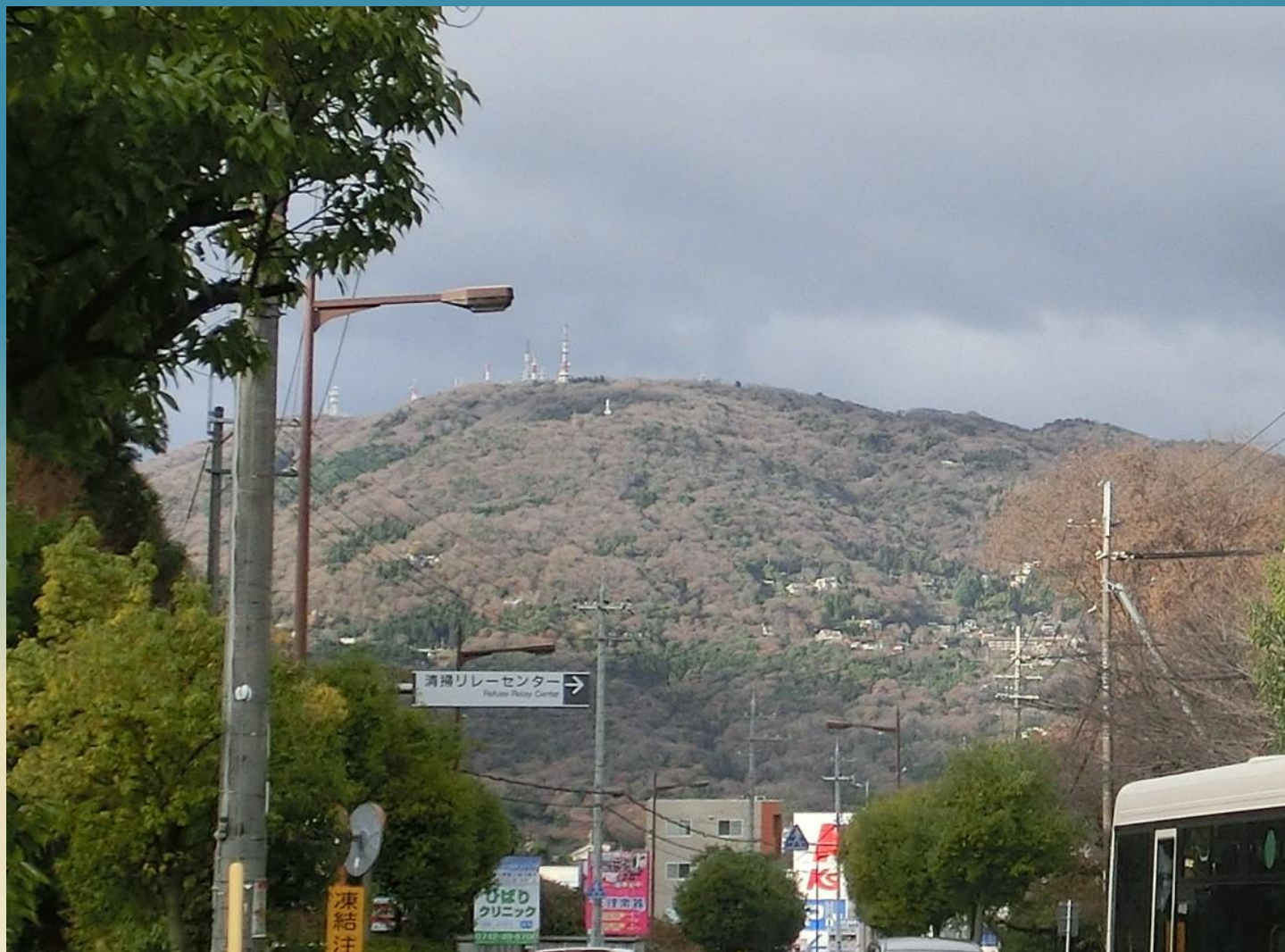
森林インストラクター
阿部和生先生

森林インストラクター、「奈良・人と自然の会」顧問、阿部先生による講義『里山って??今何が問題なの』と題して、森の成り立ちについて学びます。さらに現地を観察します。

里山って?? 今何が問題なの



生駒山の現在の状況や問題点を講義くださいました。



生駒山

なだらかな東側

講義の後は往馬大社までのフィールドワーク



生駒山の風景



竹林寺と行基の墓



往馬大社



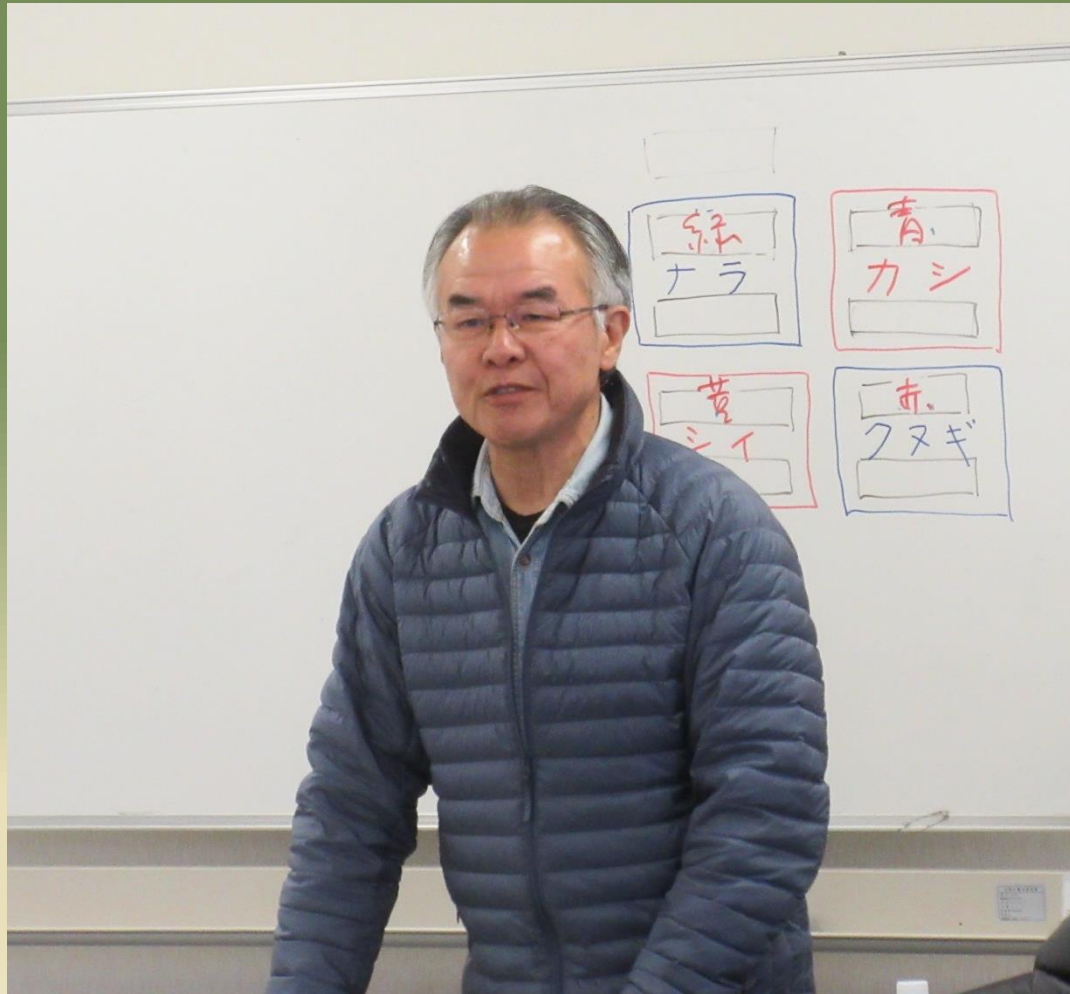
日時： 平成29年 2月18日(土)
10時00分～15時30分

場所： エコパーク21
イモ山公園

参加人数:12人

お待ちかねの実習です。NPO法人日本森林ボランティア協会による『森づくり体験(入門)と里山の保全』で、実際に道具の使い方・安全性の確保などについて学び、樹木の伐採を行います。伐採した間伐材は4回目の午後のカリキュラムで使用します。

講義(道具の使用方法、手入れの仕方、作業の安全確保、伐木の基本)



講義(伐木の基本)



講義(道具の使い方)



実習 デモンストレーション



実習 伐木(受け口)



実習



講義(道具の手入れ)

